

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立第二中学校）

平成30年9月25日

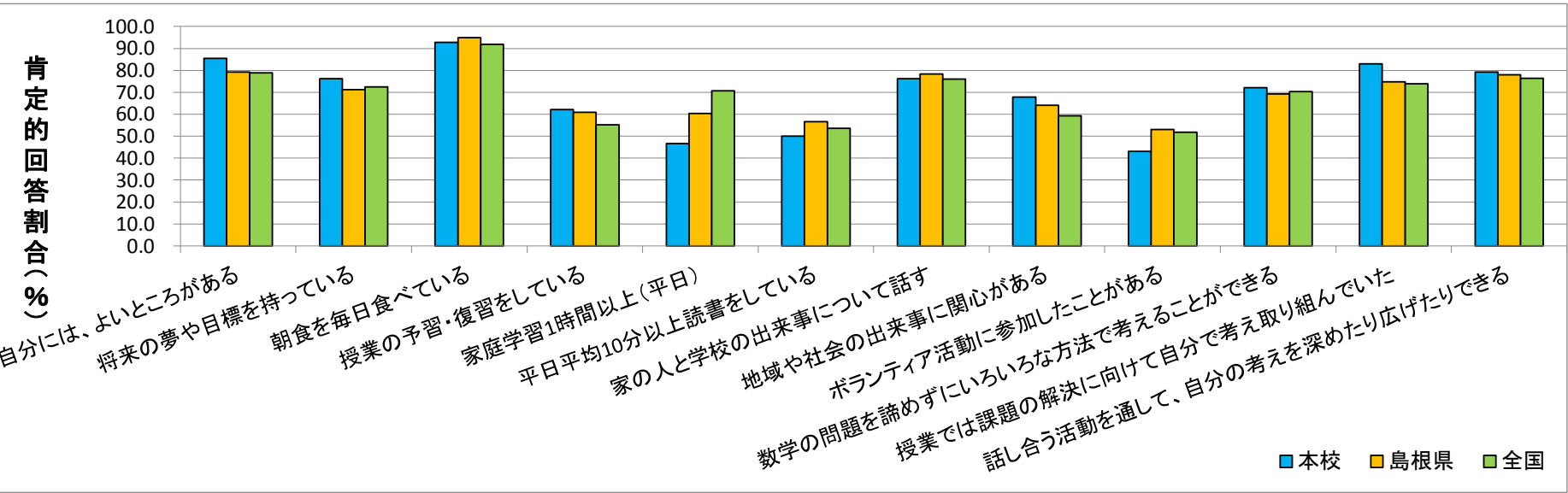
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○：成果，●：課題)	対 策
国語	A (基礎)	○目的に応じて文の成分の順序や構成を考えて適切な文を書くことは概ねできる。 ●古典の文章と現代語訳と対応させて内容を捉える力や、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む力が弱い。	・古典の学習を意図的に設定し、復習の機会を増やす。 ・古典の文章を現代仮名遣いに直して読む活動を多く取り入れる。
	B (活用)	○登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てることは概ねできる。 ●場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する力が弱い。	・文章に用いられている心情描写や情景描写等の表現に注意して作品を読み取る活動を多く取り入れる。
数学	A (基礎)	○基本的な計算力、知識は概ね身につけている。 ●文章を読み取って式に表す力が弱い。	・文章中の数量関係を読み取り、式に表す応用問題を授業で多く取り組めるようにする。
	B (活用)	○計算問題は概ねできている。 ●証明や、説明問題の自分の考えを文章表現する力が弱い。	・授業中に自分の考えを人に説明できるように書く、発表する等の時間を設定する。
理科		○基本的な知識を問う問題に対しては概ねできるようになっている。 ●自分の考えを記述で表現する力が弱い。	・授業中に自分の考えを文章で表現させたり、説明させたりする時間を意識的に設定する。 ・観察・実験を通して、自分たちで結果についてレポートにまとめて分析し、議論するような授業を行う。

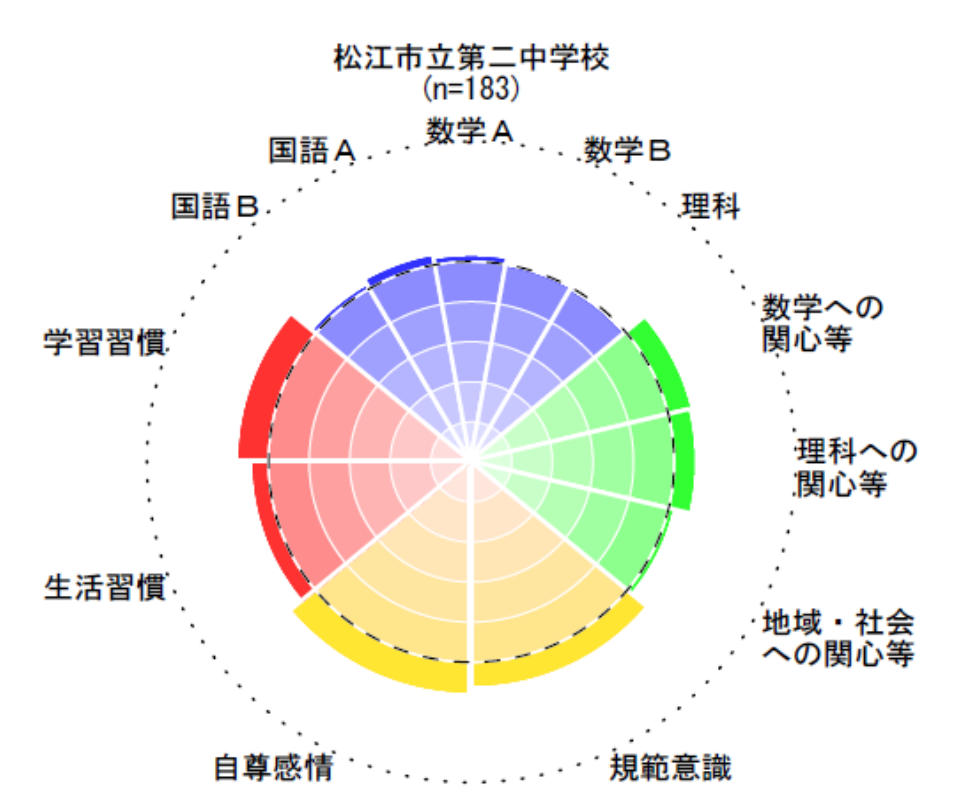
(2) 生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○：成果，●：課題)	対 策
○自己肯定感が高く、自分の将来についても前向きに考えている。 ○授業での話し合い活動にも意欲的で、課題解決や思考を深める活動にも前向きに取り組んでいる。 ●家庭学習や読書にかける時間が少なく、継続して学習に取り組む力が低い。 ●ボランティア活動への参加が少ない。	・自主学習を勧める。定期テストや課題テストも活用し、継続した学習を各教科で促す。 ・地域の活動を紹介したり、ボランティア活動への積極的な参加を促し、地域へ貢献する姿勢を育てる。

(3) 意識調査（学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています）



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・教職員で情報を共有し、生徒の実態について共通理解を深める。 ・テスト前の家庭学習や生活について、生徒が自分自身を見直し、改善できる時間を設ける。
--

【参考】

○平均正答率		(%)			
国語	A	77	76	76	76.1
	B	61	61	61	61.2
数学	A	66	65	64	66.1
	B	46	46	45	46.9
理科		65	65	66	66.1

受検者数 210 人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。